



愛媛大学理学部公開講座

～地球と生き物たちの環境と未来を守ろう～

開催日 令和6年 7月7日(日) 13:00～15:30

会場 愛媛大学理学部キャンパス S32講義室
(オンラインでの参加も可能です)

会場定員 100名

参加費 無料

《プログラム》

◆12:30～13:00 受付

◆13:00～13:10 高橋 亮治 理学部長 挨拶

◆13:10～14:10 講座1

◆14:25～15:25 講座2

◆15:25～ 閉会挨拶

参加申込

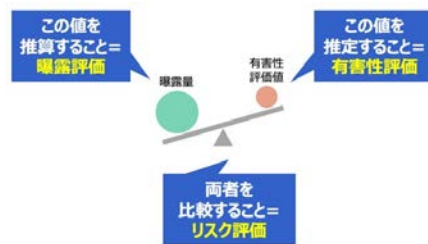
7/3 まで

【講座1】 化学物質とのつきあい方を考える ～化学物質のリスク評価概論～

(沿岸環境科学研究センター 准教授 田上 瑠美)



化学物質を用いた様々な製品は私たちの生活に必要な不可欠な一方、化学物質の取扱いや管理方法によっては、ヒトや生態系に悪影響を与えてしまいます。そのため、化学物質のリスク（悪影響を与える可能性）評価と、管理が必要です。リスクの大小は、化学物質の有害性の程度と、その化学物質をどの程度曝露・摂取したかに依存します。本講座では、「化学物質のリスク評価・管理」について、その考え方とアプローチの手法を紹介します。また、化学物質の野生生物への移行や残留性、東南アジア諸国での化学汚染に関する調査研究も紹介します。



化学物質のリスク評価の考え方

【講座2】 海岸に生える植物の生物学 (理学部 准教授 佐久間 洋)



海岸は海水の影響を受けやすく、風で砂が移動するため地形が不安定で、また日差しの影響で温度が変化しやすいなど、植物の生育にとって決して適した場所ではありません。そんな海岸でも少し海から離れると植物が現れます。四国には自然海岸が多く残されており、簡単にこれらの植物に会うことができます。海岸でたくましく生きている植物には面白い性質を持ったものがあります。今回は、四国の海岸で身近に見られるダンチクとハマダイコンを取り上げて、これらの植物の特徴について生物学の視点から解説します。



砂浜で花を咲かせるハマダイコン

参加申込方法 《Webフォームで受け付けます》 右の二次元コード または 下記URLからアクセスし必要事項をご記入ください。

<https://forms.office.com/r/MCPwCZwwxg> 7月5日までに会場参加・オンライン参加に関する情報を返信します。

問い合わせ先：愛媛大学理学部公開講座実行委員会 (ehime.ri.koudai@gmail.com) 後援：愛媛大学SDGs推進室

